

## 6月28日のウクライナ情報

安齋育郎

### ① 矢野義昭氏の見立て(2024年6月26日)

NATO はロシアとの核対決姿勢を止めプーチン大統領が示した停戦条件を真剣に検討し講和交渉に応ずるべきです。核戦力でも通常戦力でもロシアに勝てる見通しはなく増強も間に合いません。クリミア・東部南部 4 州のロシア併合を認めウクライナの NATO 化は諦めるべきです。欧米の政治・経済が持ちません。



※安齋注:矢野義昭=1972 年京大・工卒。同大学文学部に学士入学して1974年に卒業、陸上自衛隊に入隊。第6普通科連隊長、兵庫地方連絡部長、第1師団副師団長兼練馬駐屯地司令、陸上自衛隊小平学校副校長などを歴任。2010年の第22回参議院選で民主党公認を得るも落選。2016年の第24回参議院選でおおさか維新の会公認を得るも落選。現在、岐阜女子大・拓殖大で客員教授、日本安全保障・危機管理学会顧問、国家生存戦略研究会・会長。

### ② ウジホロド、女性が強制動員(2024年6月26日)

どうやら女性の動員の指定されてる資格保有者。医者など。まずは資格保有者…それでも不足だったら…

<https://x.com/i/status/1805753548996854051>



<https://x.com/Mari21Sofi/status/1805753548996854051?s=09>

### ③ ウクライナは核廃棄場と化している = ロシア国防省(2024年6月25日)

ウクライナへの放射性化学物質の輸入が続いており、使用済み核燃料や有害化学物質生産施設からの廃棄物の捨て場になっている、とロシア放射線・化学・生物防衛部隊のイーゴリ・キリロフ部隊長が述べた。

現在有している情報によると、ウクライナへの放射性化学物質の輸入は、主にポーランドとルーマニアを経由したものだ。

ゼレンスキー事務所のエルマク所長が個人的に、この輸送に関する諸問題を担当しているという情報もある。

ウクライナへ輸入された物質は、「ダーティーボム」製造に使われ、そのダーティーボムは更に、外国の旗のもとで(※編集注 ロシアに罪を押し付ける形で)使用される可能性がある、とキリロフ氏は指摘している。



[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1805598156198986070?s=09](https://x.com/sputnik_jp/status/1805598156198986070?s=09)

#### ④米国防総省長官、ロシア国防相とウクライナ紛争について協議(2024年6月26日)

米国防総省のロイド・オースティン国防長官は、ロシアのアンドレイ・ベロウソフ国防相とウクライナをめぐる紛争について協議し、ウクライナ紛争を背景に、コミュニケーションのチャンネルを維持することの重要性を強調したと述べた。米国防総省のライダー報道官が伝えた。

ライダー報道官によれば、ロシアと米国の国防相が最後に接触したのは2023年3月15日のことだった。

<https://sputniknews.jp/20240626/18706109.html>

※安齋注:ロシアと戦争状態になったらヤバイと思って急遽仕組んだのではないですか。

#### 〈関連情報〉

##### 米とNATOによる直接攻撃?スコット・リッター氏がセバストポリ攻撃について語る

「ウクライナは都市、民間都市に対してクラスター弾を搭載した『ATACMS』ミサイルを使用した。これはテロ行為だ」

元国連大量破壊兵器廃棄査察官でスプートニク寄稿者のスコット・リッター氏が、23日にウクライナ軍がクラスター爆搭載の米国製ミサイル「ATACMS」でロシアのセバストポリを攻撃したことについてコメントした。発射された5発のうち4発は撃墜されたが、1発は飛行軌道から外れ、その弾頭がセバストポリ上空で爆発し、被害をもたらした。最新情報によると、151人が負傷、子ども2人を含む4人が死亡した。

リッター氏はまた、「ウクライナは2014年以降、ロシアの民間人に死と破壊をもたらすことを唯一の目的として、ロシアの民間施設、都市、村、町を爆撃してきた」と指摘した。

「これはテロ行為だ。また、米国の諜報機関による幅広い支援がなければウクライナがATACMSミサイルを配備できないことを考慮すると、これは米国によるロシアに対するテロ行為である」

[https://x.com/sputnik\\_jp/status/1805130457706840225?s=09](https://x.com/sputnik_jp/status/1805130457706840225?s=09)

## ⑤ ロシア国防省、捕虜の交換で帰還した兵士 90 人の映像を公開(2024 年 6 月 26 日)

ロシア国防省は、捕虜の交換でウクライナから帰還した 90 人のロシア兵を映した動画を公開した。



無事に帰還した兵士らは家族や友人に連絡し、帰国の知らせを伝えたほか、捕虜交換の実現に向けて仲介を行ったアラブ首長国連邦に感謝の言葉を口にした。帰還した兵士らは今後、医療機関で治療とリハビリを受ける。

<https://twitter.com/i/status/1805762500912460222>



[https://sputniknews.jp/20240626/90--18705479.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240626/90--18705479.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑥ 露外務省、EU のロシアメディア規制への報復措置についてコメント(2024 年 6 月 25 日)

ロシアは、EU によるロシアメディアへの制限に対抗して、欧州の 81 のメディアリソースへのアクセスを制限することを決定した。ロシア外務省のウェブサイトが伝えている。

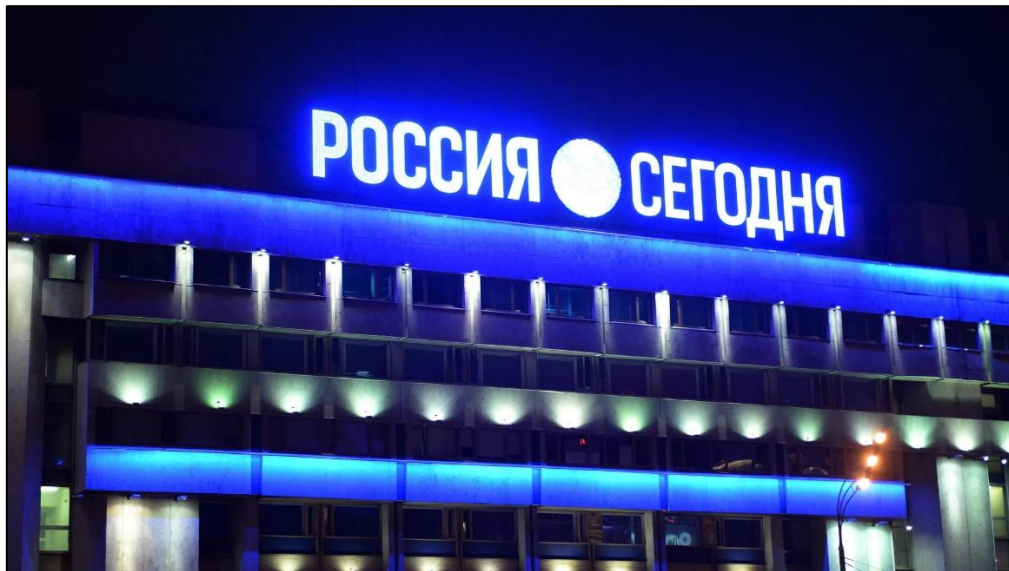
ロシア外務省は、EU 理事会が 5 月 17 日、リア・ノーヴォスチ、イズバスチヤ、ロシア新聞の「あらゆる報道活動」を禁止する、と決定したことを明らかにした。この決定は 6 月 25 日に発効する予定だ。

「ロシア側は何回も、様々なレベルで、政治的なモチーフによるロシアのジャーナリストへの嫌がらせや、EU 域内における、ロシアメディアの放送、報道の禁止は不当で、見過ごすことはできないと警告

してきた」

ロシアでのアクセスが制限されるメディアの中には、ドイツのシュピーゲル、ツァイト、フランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトゥング、スペインのエル・pais、イタリアのラ・スタンパ、ラ・レプブリカ、フランスのル・モンド、リベラシオン、そして欧州を広くカバーするポリティコと、EU オブザーバーなどが含まれている。

ロシア外務省は、ロシアメディアへの規制が解除されれば、ロシア側もその決定を再考するだろうと指摘している。



[https://sputniknews.jp/20240625/eu-18699500.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240625/eu-18699500.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑦アサンジ氏の RT テレビ出演復帰は喜ばしい＝「ロシア・セヴォードニャ」と「RT」のシモニャン編集長(2024年6月26日)



スプートニクを傘下に持つ露メディアグループ「ロシア・セヴォードニャ」と「RT」のマルガリータ・シモニャン編集長はスプートニクとの会話の中で、ウィキリークスの創設者であるジャーナリスト、ジュリアン・アサンジ氏が RT の番組に復帰するのを見るのは嬉しいと語った。「彼(アサンジ氏)が活動的な生活に戻り、私たちの放送に戻ってくることを願っている。思い出してみれば、このようなことが彼に起こる前、12 年前に彼は RT で非常に素晴らしい番組の司会をしていた。この番組が放送復帰できたら私たちは嬉しい」

シモニャン氏はアサンジ氏との出会いについても語った。

「ロンドンでジュリアンを訪ねたとき、彼は郊外の小さな家に住んでいた。私たちが天気よりも深刻な話を始める前に、彼は私に、ガジェットをその家に置いて、森に散歩に行くように言った。これには当時驚いたが、数年後、私は彼が先見の明を持った、今の時代における最も偉大なジャーナリストであると分かった。この人は偉大な勇気の持ち主だ」とシモニャン氏は話した。

[https://sputniknews.jp/20240626/rtrt-18703182.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20240626/rtrt-18703182.html?rcmd_alg=collaboration2)

## ⑧在独ウクライナ人めぐり議論、保守派「働かないなら帰国を」(2024年6月26日)



【AFP=時事】ドイツの保守派が在独ウクライナ人に対し、働かないなら帰国するよう求めたのを受け、オレクシー・マケイェウ(Oleksii Makeiev)駐独ウクライナ大使は25日、「大衆迎合的」な発言だと批判した。

保守政党「キリスト教社会同盟(CSU)」の幹部アレクサンダー・ドブリント氏は、23日付の主要週刊紙「ビルト日曜版」に掲載されたインタビューで、ウクライナ人は「就労しないなら、ウクライナ西部の安全な場所に帰るべきだ」との見解を示した。

2022年のロシアによるウクライナ侵攻開始を受け、ドイツ政府はウクライナ人に対し、難民認定申請を必要とすることなく自動的に、滞在許可と失業手当を受給する権利を与えた。

だが、ドブリント氏ら保守派は、中道左派「社会民主党(SPD)」所属のオラフ・ショルツ首相に対し、ウクライナ人支援の削減を求めている。

チューリンゲン州議会の保守政党「キリスト教民主同盟(CDU)」トップ、マリオ・フォークト氏は先週、ウクライナ人に長期在留者と同等の福利厚生を与えた決定は「重大な過ち」だったと批判。

フォークト氏は独紙ターゲットスシュピーゲル日曜版に対し、こうした寛大な支援は「完全に間違ったインセンティブ」だったと指摘。「無条件に支援するのではなく、就労させなければならない」と訴えた。

これに対しウクライナのマケイェウ駐独大使は独テレビチャンネル「フェニックス」で、ドブリント氏らの発言は「いささか人間味に欠け、非常に大衆迎合的だ」と批判。

「安全な場所があると言うのは、ウクライナに行ったことがない人だ」とし、ウクライナには「毎日」ロシアの爆弾が降り注いでいると付け加えた。

マケイエウ氏はドイツのフベルトゥス・ハイル労働・社会相と連名で、在独ウクライナ人に就労を呼び掛ける通知を送付したという。

マケイエウ氏はさらに、ウクライナ人は他の外国人よりも早く仕事を見つけているが、能力にふさわしい求人がないために、働く意欲をそがれている人も多いと訴えた。

独政府によると、同国はウクライナ侵攻が始まって以降、約100万人のウクライナ人を受け入れた。労働・社会省によると、そのうち仕事を見つけたのは約17万人。

独政府は今年、在独ウクライナ人支援に55億～60億ユーロ(約9400億～1兆260億円)の予算を割り当てている。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/7b87a1fc516cbaacacbf4e281e4f7e008dda983/images/000>

## ⑨ EUがウクライナの加盟交渉を正式に開始 実現に数年も…正式加盟は長く厳しい交渉が予想(2024年6月26日)

EU＝ヨーロッパ連合は、ウクライナと加盟に向けた交渉を正式に開始しました。正式加盟にはウクライナ国内の改革も必要で、長く厳しい交渉が予想されます。

ウクライナ・ステファニシナ副首相「我々は本日の加盟交渉開始が歴史的な節目となると固く信じているが、これはEUと共に歩む長い道のりの始まりに過ぎない」

EUは25日、ウクライナとウクライナの隣国モルドバと、加盟に向けた交渉を開始したと発表しました。

両国は、ロシアのウクライナ侵攻開始直後の2022年に加盟申請していました。

EU加盟の候補国は、政治や税金、法律など35の政策分野で、EUの基準に合わせる必要があります。

また、全てのEU加盟国の承認が必要で、実現には何年もかかるものと見られています。

ウクライナのゼレンスキー大統領は「ウクライナはこれまで懸命に努力してきた。加盟条件を満たすことに全力を尽くす」と述べています。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/c6166db71afdacfe7c52caa75ada2306fa326f67/images/000>

## ⑩ オーストラリアのタッカー・カールソン(2024年6月26日)

オーストラリアのブリスベンで、タッカー・カールソンのスピーチを妨害しようとしたウクライナ人活

動家にブーイングを浴びせる数千人のオーストラリア人。

この活動家は逮捕され、928ドルの罰金を科せられた。彼がやった事は、会場にいた全員がウクライナを支持していない事を証明した。オウンゴール。

<https://x.com/i/status/1805703354892374128>



<https://x.com/i/status/1805703354892374128>